



右スライドドアの前側ラッチシャフトの加締め加工が不適切なため、ラッチの作動に渋りがあり、清掃等でラッチに触れて下がると、ラッチを戻すスプリングの力で戻らなくなるものがある。そのため、その状態でドアを閉めるとラッチがストライカーに当たり、ドアを閉められなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、右スライドドアの前側ラッチー式を良品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：右スライドドア 前側ラッチの下側取付けボルト頭に黒ペイントを塗布する。